

①開 会

<教 育 長>

それでは、ただいまから、令和6年山形県教育委員会6月定例会を開会いたします。

<教 育 長>

議事等に先立ち、申し上げます。  
先ほど、1名の傍聴の申出があり、これを許可しましたので、御了承願います。

②会議録署名委員の指名

<教 育 長>

会議録署名委員に、山川委員と丹治委員を指名いたします。

③会期の決定

<教 育 長>

会期は、本日一日としていかがですか。

<各 委 員>

異議なし。

<教 育 長>

御異議なしと認め、会期は本日一日に決定いたします。

④報 告

<教 育 長>

議事に先立ち、報告があります。  
(1)「山形県公立高等学校入学者選抜における県外からの志願者受入れに関する要綱による県外志願者受入れ校について」、高校教育課長より報告願います。

<高校教育課長>

資料は報告1-1を御覧ください。  
「山形県公立高等学校入学者選抜における県外からの志願者受入れに関する要綱」による県外志願者受入れの承認について、御報告いたします。  
1(1)を御覧ください。今回、谷地高校、庄内総合高校(全日制総合学科)の2校2学科から、新たに県外志願者受入れの申請がございました。  
1(2)を御覧ください。2校からの申請を受け、6月6日に県外志願者受入れ審議委員会を開催し、5名の委員から意見聴取を行いました。5名の委員とも2校の県外志願者受入れについて、賛成との結果でありました。  
審議委員会の中では、主な意見として「県外中学校への積極的なPRをお願いしたい」との御意見や、「谷地高校はカヌー、庄内総合高校は体操と特色ある部活動を有していることから、その点もPRしてはどうか」との意見をいただいたところです。

この2校とも近年の入学状況から県内中学生の受検に影響が少ない

こと、また地元自治体との間で、県外生の受入れに向けた生活支援の事業化や宿泊先の確保に向けた検討が進められていることを確認しております。

1(3)を御覧ください。以上のことから過日、教育長に、県外志願者受入審議委員会の意見を報告し、申請のあった2校2学科について、県外からの志願者受入れについて承認をいただきましたので、この度、委員の皆様にご報告いたします。

続いて2を御覧ください。このことにより、令和7年度入学者選抜において県外志願者受入れを行う学校は、2(1)の山形県公立高等学校入学者選抜における県外からの志願者受入れに関する要綱により7校9学科、(2)の山形県立高等学校小規模校入学者選抜における県外からの志願者受入れに関する要綱により4校4学科、合計11校13学科となります。

以上でございます。

<教育長> ただいまの報告について、御質問等ございますでしょうか。

<小関委員> 昨年度、県外からの合格者は何名になりますか。

<米野教育次長> この制度では22名です。

<小関委員> これが増えてくれば、なおさら山形に関心を持っていただけたと思うので、積極的に取り組んで、入学者を増やしていただきたいと思います。

去年、萩野学園へ視察に行ったとき、県内だけではなく県外の高校のパフレットが置いてありました。石川県の国際高等専門学校もどうして置いてあるのか気になりパフレットを見ましたが、公立ではなく私立の高専なのです。教員の6割が外国人という独特な学校のようなのですが、わざわざ石川県から山形県の中学校までパフレットを送ってくるということは、もしかすると全国に送っているのかもしれない。

県外から受入れしますよと言っても、県外の学校に何もアナウンスをしないと周知されないと思います。

<高校教育課長> 各都道府県の教育委員会を通じ、山形県の学校が県外募集していることとお知らせするとともに、県外からの高校入学等を斡旋している地域・教育魅力化プラットフォームという団体があり、いくつかの高校が加入しておりますので、PRも含めて周知していきたいと思っております。

それから県教育委員会のホームページや、先月の教育委員会でも御報告申しあげましたポータルサイトにも情報を掲載しながら周知を図っていきたいと考えております。

<教育長> ほかになければ、次に(2)「県立高校県外生受入れ推進事業について」、高校教育課高校未来創造室長より報告願います。

<高校未来創造室長>

令和6年度の新規事業でございます、県立高校県外生受入れ推進事業のうち、学校見学バスツアーの概要について御説明をいたします。

報告2-1を御覧いただきたいと思っております。本県への進学に関心のある県外の中学生等が本県高校の特色を知り、進学後のイメージを強めてもらうことを目的に、県外生受入れを実施している県立高校や、その周辺地域の自然・文化・食を巡る1泊2日のバスツアーを実施いたします。

全部で三つのコースを設定いたしまして、置賜コースは高島高校、小国高校の2校、最上コースは村山産業高校、新庄北高校最上校、新庄南高校金山校の3校、庄内コースは加茂水産高校、庄内農業高校、遊佐高校の3校を、それぞれ見学いたします。ツアーの実施は記載のとおり、7月末から8月上旬にかけて行います。

中段の帯状の部分を御覧ください。参加に係る費用については県が負担するとともに、参加者が来県する際の往復交通費の一部を補助いたします。参加対象者は県外の中学1年生から3年生とその保護者になります。

詳細は委託業者及び各高校と現在検討中でございますので、御覧の資料は第1次のチラシといたしまして、日程や参加対象、また参加料などの概要のみを記載しております。詳細が決まり次第、「山形県立高等学校ポータルサイト」をはじめ、プレスリリースや委託業者からの情報発信など、多方面での周知を図ってまいります。

また、資料にはございませんが、バスツアーにおける交通費補助とは別に、このバスツアーで興味を持った生徒及び保護者の方々が、単独の学校説明会、オープンスクール等で来県をする場合の交通費の一部を補助するフォローアップ事業も行っております。

加えて、県外生受入れ校の情報や県の魅力等をまとめたパンフレットを作成しまして、県外の県関係事務所や施設、イベント等で配布をしていく予定でございます。

説明は以上でございます。

<教 育 長>

ただいまの報告について、御質問等ございますでしょうか。

<小 関 委 員>

これは主に県外の子どもたちに紹介したいという事業でしょうか。

<高校未来創造室長>

はい。県外の生徒を対象としています。

<教 育 長>

ほかになれば、これより議事に入ります。

## ⑤議 事

<教 育 長>

議第1号は議会提案前の案件であることから、これより秘密会としていかがですか。

<各 委 員>

異議なし。

<教 育 長>

御異議なしと認め、これより秘密会といたします。

《 議第1号は秘密会にて審議 》

⑥閉 会

<教 育 長>

以上を持ちまして、教育委員会を閉会いたします。